

DIOCESE OF SAITAMA

TOKIWA 6-4-12,  
Urawa-ku,SAITAMA city  
〒330-0061, JAPAN  
TEL:048-831-3150  
FAX:048-824-3532



カトリックさいたま教区

さいたま市浦和区  
常盤 6-4-12  
〒330-0061  
TEL:048-831-3150  
FAX:048-824-3532

2020年3月27日

カトリックさいたま教区の皆様

司教 マリオ 山野内 倫昭

**新型コロナウイルスの感染拡大に対する教区の対応について（第6次）  
聖週間のミサの中止等について**

わたしたちの切なる願いにも拘わらず、新型コロナウイルスの感染拡大の勢いはむしろ増しつづきます。聖週間を目前に控え、顧問会で、向こう1カ月間の典礼等についての対応が決まりましたので、皆様にお伝えいたします。

**1・公開のミサの中止について**

4月26日（日）（復活節第3主日）まで公開のミサの中止を継続します。

**2・聖週間の典礼について**

枝の主日（4月5日）

ミサは非公開です。枝は必要ありません。

すでに枝を用意している小教区は公開のミサ再開後、配布してください。

聖香油のミサ

司教に委ねられた権限に基づき、延期します。

聖木曜日（主の晩餐）と聖金曜日

典礼は非公開で行われます。信徒の皆様は自宅で、心を合わせてお祈りください。

聖金曜日の盛式共同祈願 (司祭の皆様へ)

日本カトリック典礼委員会の勧めで、通常用いられる盛式共同祈願に、下記の祈願を追加してください。

新型コロナウイルス感染症に苦しむ世界のために

助  
新型コロナウイルス感染症に苦しむ世界のために祈りましょう。  
神が苦しむ人を支え、病への恐れと不安を取り除いてくださいますように。

しばらく沈黙の後、唱える。

司  
希望のよりどころである神よ、  
病に苦しむ人に必要な治療を与え、  
医療に携わる人を感染から守り、  
亡くなった人を永遠のみ国に迎え入れてください。  
ともにいてくださるあなたに支えられ、  
不安と混乱に襲われた世界が希望を取り戻すことができますように。  
わたしたちの主イエス・キリストによって。アーメン。

\* 歌唱する場合、招きのことばの太字で音が変わります。

復活徹夜祭・復活の主日

洗礼式は延期してください。

復活徹夜祭ならびに復活の主日のミサは公開されません。

復活の主日のための「教会の祈り」の「読書」を唱えることをお勧めします。

**3. 四旬節の愛の献金について**

これまで通り、「カリタスさいたま」に送って下さい。

#### 4. これまでと変わらないこと

- (1) 主日のミサ、聖なる3日間のミサに与る義務の免除（さいたま教区のすべての信徒）
- (2) 結婚式と葬儀については、十分な感染防止対策を取った上で行う。
- (3) ミサ以外の諸行事については、延期または中止するように配慮すること。
- (4) （司祭の皆様へ）非公開のミサは聖堂ではなく、司祭の自室でささげること。
- (5) （司祭の皆様へ）臨終など、緊急でやむを得ない場合を除いて、「ゆるしの秘跡」の執行はなさらないでください。なお、現在の状況下での「ゆるしの秘跡」ならびに「特別免償の付与」については、中央協議会のホームページをご参照ください。  
信徒の皆様のためにフランシスコ教皇のアドバイスをお伝えします。

ゆるしの秘跡を受けられない方々へ

フランシスコ教皇からのアドバイス

（2020年3月20日 カーサ・サンタマルタでのミサにて）

皆さんの多くが復活祭の前にゆるしの秘跡を受けるのは知っています。そしておっしゃるでしょう「ですが、神父様、私は家を出ることができないのですが神様と和解したいのです。神さまに抱きしめていただきたいのです。司祭を見つけられないなら、どうしたらいいでしょう」と。カテキズムにはどのように書いてあるでしょうか。それはとてもはっきりしています。もし、告解に行く司祭を見つけられないなら、神に話してください。神は、あなた方の父なのです。神に真実を話してください。「主よ、わたしはこんなこと、あんなことをしました。おゆるしください」と。悔い改めの行いと共に、心の底から神のゆるしを願うのです。そして、「後で告解に行きます」と神に約束してください。そうすれば、ただちに神の恵みにあずかれるでしょう。カテキズムが教えている通り、司祭が傍に居なくても、あなたは自分で神のゆるしに近づくことができるのです。（私訳）

わたくしは日本で生まれ、アルゼンチンで育ち、そして、今、さいたま教区に迎えられてこの特別の時を皆様と共に生きる恵みを頂いております。この世界はわたしたちがともに暮らす家、わたしたちはすべての違いを超えて、互いを大切にしながら生きなければならない家族であることを、今ほどひしひしと感じたときはありません。皆様が温かい理解とご協力を下さり、ともに歩んでくださっていることを心から感謝いたします。

どうぞ、これからも一層、神のいつくしみの心に信頼し、すべての方々に思いを馳せながら、特に、亡くなられた方のために永遠の安らぎを祈り、感染した方々の速やかな回復と世界的な流行の一日も早い終息を願い、聖母マリアの取り次ぎを願いながら、父である神に祈りましょう。

以上